

青谷町版総合戦略 骨子(たたき台)

◆総合戦略策定の考え方

本市では平成16年11月の合併以来、新市の均衡ある発展をめざし、新市域における「地域振興プラン:平成23年度～平成27年度」「新市域振興ビジョン:平成26年度～平成35年度」を策定し、新市域の10年先を見据えた夢のある将来像を描き、行財政基盤の確立や地域振興の継続・発展、協働によるまちづくりの推進など、地域それぞれの特有の「個性」を活かしたまちづくりの方向性を示した。

合併後10年が経過し、再度、まちの現状や課題を整理しつつ、「地域振興プラン」で掲げた施策や事業、取り組みを検証すべき時に来ている。

このような中で、地方創生が打ち出され、全国各地でさまざまな取り組みがスタートし、今まさに、地域の課題を的確に捉え、地域の実情にあった具体的な取り組みを強力に進めることが求められている。

そのため、このたび、「青谷町版総合戦略」を地域や各種団体、本年度から新たに組織化された地域振興会議での議論を踏まえ策定する。

地域振興プランの検証

《取り組み方針》

- 農産物・海産物の販路拡大
- 因州和紙など地場産業の振興
- 移住定住の促進、住みやすい生活環境の整備

《具体的な取り組み》

- ①地域振興特定予算関連
 - ・日中韓高校生シンポ
 - ・青谷ようこそまつりほか
 - ・あおや和紙工房管理
 - ・池田市交流
- ②合併地域活性化推進事業
 - ・青谷地域活性化推進事業
- ③中山間地域対策事業
 - ・輝く中山間地域モデル事業
- ④過疎計画関連事業
 - ・交通対策、道路、橋梁事業
 - ・児童福祉施設関連事業
- ⑤第9次総合計画関連
 - ・地域生活拠点計画策定



《主な成果》

- ①関連
 - ・全体事業を見直し継続実施
- ②関連
 - ・7事業を継続実施
- ③関連
 - ・和紙関連、市街地との交流事業
- ④関連
 - ・絹見、引地地区有償運送実施
- ⑤関連
 - ・中郷小学校解体
 - ・地域生活拠点計画策定

鳥取市新市域振興ビジョン推進計画（青谷町総合支所）

10年先の将来像 ～だれもが住み続けたいまち・住んでみたい町 青谷町～

1 地域コミュニティの推進
活力のあるまちづくり

- ・地域生活拠点の整備
- ・地域活性化イベントの再構築
- ・地域コミュニティの充実
- ・青谷町内の保育園・小中高等学校を核とした地域活性化
 - ①「卓球のまち青谷」の復活
 - ②国際交流事業の継続、拡大
 - ③保育園、小中高との連携強化

2 地域資源の有効活用による魅力あるまちづくり

- ・地場産業の育成
- ・歴史的資源を磨き上げ交流人口を増加

3 安全・安心なまちづくり

- ・自主防災組織の充実と連携
- ・避難行動要支援者支援制度への登録啓発
- ・ひとり暮らしの高齢世帯へ「安心ホットライン」の設置啓発

1. まちの現状認識

◆人口減少……危機感

青谷町は鳥取市の新地域でも人口減少が顕著で平成16年と平成26年を比較すると、81.5%、△1,493人減少している。特に、0歳～64歳の人口減少が主で、65歳以上の高齢者人口は、ほとんど減少していない。人口減少の要因は若年層の町外流出であり、このまま人口移動が収束しなければ、日本創生会議が唱える消滅町村となる可能性は高い。

また、人口の再生産を中心的に担う20～39歳の女性人口の減少も著しい。

時点	総人口	0～14歳	15～64歳	65歳～	20～39女性人口	世帯数
H16.12	8,069	977	4,687	2,405	654	2,484
H26.12	6,576	564	3,584	2,428	489	2,466
比較	△1,493	△413	△1,103	23	△165	△18

◆人口の将来予測

◎予測の考え方・・・鳥取市総合戦略の人口ビジョンによる

※基準人口：2010年10月1日現在(国勢調査)

※合計特殊出生率：1.55(2013数値)が2020年に1.8(希望値)に、2030年には2.07(人口置換値)に上昇すると仮定

※社会移動の状況：今後10年かけて移動率を約0.5倍に逓減し、その後は一定

	2010	2015	2020	2025	2030	2035	2040
0～14歳	717	653	661	691	709	718	717
15～64歳	4,154	3,735	3,320	2,948	2,698	2,567	2,439
65歳以上	2,376	2,450	2,496	2,430	2,339	2,161	1,976
75歳以上	1,448	1,453	1,396	1,439	1,474	1,465	1,398
合計	7,247	6,838	6,450	6,069	5,746	5,445	5,132
鳥取市全域	197,449	192,230	187,719	182,352	177,382	171,878	165,639

◆ひと・人材・・・・・・意識改革

まちの賑わいを創生するには、人の動きが欠かせない。

多くの団体、グループなどがさまざまな活動を行っているが、まちの賑わいに繋がる大きな効果が見えない。

地域資源のすばらしさを再認識しつつ、自ら活動する人材・グループを発掘し・支援する。



◆地域資源……自覚

鳴り砂、長尾岬、不動滝をはじめとする「自然」、因州和紙の「産地」、二つの漁港から水揚げされる「鮮魚」、各地域で生産される「農産物」、弥生の遺跡「上寺地遺跡」、各地に伝わる「伝統・文化」など、すばらしい「地域資源」があるが、地元民の認識は薄い。



2. 青谷町総合戦略の基本的な考え方

上記、現状認識を踏まえ、市全体の基本目標及び「新市域地域振興ビジョン」「地域振興プラン」に沿った、青谷独自の基本目標を以下のとおりとする。

《市全体の基本目標》

- I 次世代の鳥取市を担う“ひとづくり”
- II 誰もが活躍できる“しごとづくり”
- III 賑わいにあふれ安心して暮らせる“まちづくり”



《青谷町の基本目標》（◆は振興ビジョンの目標）

- I 地域コミュニティを核とした“ひとづくり”
 - ◆地域コミュニティの推進、活力あるまちづくり
- II 地域資源を活かした“まちの魅力づくり”
 - ◆地域資源の有効活用による、魅力あるまちづくり
- III 誰もが生き活きと安全で安心して暮らせる“まちづくり”
 - ◆安全・安心なまちづくり

I 地域コミュニティを核とした“ひとづくり”

◆地域コミュニティの増進・活力あるまちづくり

1. 教育の充実・郷土愛の醸成

施策	内容	目標	実施主体
地域の宝は地域が育てる	青中地域創造学校	目指す子供の姿	創造学校・地域
◆青谷高校の魅力アップ	◆青高を考える協議会	青高の存続	協議会・地域・行政
	◆青高生卓球教室	参加者:200人	青高・協議会
	◆中学生卓球大会	参加者:500人	県卓連
	◆国際交流の推進	シンポジウム参加者:300人	青高・行政
◆次世代リーダー発掘と支援	青谷版若者会議	活性化提案数:5件	

I 地域コミュニティを核とした“ひとづくり”

◆地域コミュニティの増進・活力あるまちづくり

2. 地域コミュニティの強化

施策	内容	目標	実施主体
◆地域活動への参加意識	◆地区公民館の役割の再構築	環境整備事業数:3事業	地区公民館
	地区座談会の開催	年2回	地区公民館
	スーパーボラティアの促進	各地区1団体	地区公民館
祭事や伝統文化の継承	高齢者、団塊の世代の協力	青谷学の開催	老人クラブ
	こども世代の地域活動参加		地区公民館・集落

Ⅱ 地域資源を活かした“まちの活力づくり”

◆地域資源の活用による、魅力あるまちづくり

1. 地域資源を活かした産業全般の底上げ

施策	内容	目標	実施主体
◆農林漁業の活性化	◆夏泊朝市・あおいちの開催	毎月第1日曜開催	漁協・団体
◆地場産業の活性化	◆和紙産業の支援	支援事業	連絡会議
◆後継者育成	農林漁業者	新規就業者数:	団体・行政
◆ジオ関連ガイド、産業の発掘	ジオガイドの育成	ジオガイド数:10人	団体・行政
◆歴史的資源の活用	上寺地遺跡保存活用	交流人口の拡大	団体・行政
団塊の世代によるまちづくり	元気塾への参加	組織化数:3団体	市民・団体
鳥取森田跡地の活用			

Ⅱ 地域資源を活かした“まちの活力づくり”

◆地域資源の活用による、魅力あるまちづくり

2. 地域経済における人材還流と育成強化

施策	内容	目標	実施主体
池田市との交流促進	池田市イベントへの参加	参加イベント:3回 (青谷物産の販売)	農業公社・行政
ダイキシアレスとの交流促進	納涼祭への参加	青谷物産の販売	農業公社・行政
青谷町出身者の知的財産の活用			

Ⅲ 誰もが生き生きと安心して暮らせる“まちづくり”

◆安心・安全なまちづくり

1. 結婚・出産・子育て支援

施策	内容	目標	実施主体
子育て世代グループの活動支援			
独身の会の立ち上げ			

Ⅲ 誰もが生き生きと安心して暮らせる“まちづくり”

◆安心・安全なまちづくり

2. 移住定住による人の好循環化

施策	内容	目標	実施主体
空き家を活用した移住定住の促進	移住定住空き家運営業務委託(空き家調査)	活用可能空き家数:5	NPO

Ⅲ 誰もが生き生きと安心して暮らせる“まちづくり”

◆安心・安全なまちづくり

3. 住み良い環境づくり

施策	内容	目標	実施主体
地域バスの運行	バス乗降実態調査		
買い物難民対策	実態調査		
◆地域生活拠点整備	◆中央広場整備	H29年度完成	行政・市民
	◆東町排水ポンプ整備	H29年度完成	行政・市民
	◆青谷駅前広場整備	H30年度完成	行政・市民・JR
◆自主防災組織の体制整備と連携強化	避難要支援者登録	登録集落:全集落	行政

議論の進め方

地域振興ビジョンを踏まえつつ、新たな取り組みと重点事業の抽出し、優先順位を検討する。

めざすまちづくりの目標を決める

①ひとづくり ②仕事づくり ③まちづくり

手法・戦略を決める

①だれが、どんな方法で、いつ始めるか…

②目標達成につながるか…

具体的な事業・取り組みを決める

戦略策定のスケジュール

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
地域振 興会議		○	◎		○	○		○	○	
骨子 決定	→									
具体事 業協議		→								
戦略全 体協議					→					
まちづ くりア ンケ ート		→								
地区座 談会										
グルー プヒヤ		→								

